

私たちは、神さまの御前では罪人であり、だから死ななければならないのだということを学びました。しかし同時に、神さまは、私たちを愛してくださり、私たちのことが大好きだから、私たちの罪を赦して、救ってくださる約束をして下さいました。

私たちを救うために、神さまが行って下さったことが、神の御子であるイエスさまを、人として遣わされることでした。イエスさまは、クリスマスの日に、人としてお生まれ下さいました。それは、マリアさんをお母さんとしませんが、聖霊によってであり、特別な方法で、人となられました。

だから、イエスさまは、まことの神さまですが、同時にまことの人となられたのです。このことを「二性一人格」ということを、前回も紹介しました。

そこで、今回は、イエスさまがまことの神さまであることを確認して、今回は、イエスさまはまことの人であることを確認して行こうと思います。

私たち人間は、罪の故に死に、滅びにいます。どうすれば神さまに赦されるのか？それは、私たち自身が、自分の罪を償うこと、つまり、その責任を果たすことです。

しかし私たち人間は、自分の罪を償うことはできません。罪の結果は死だからです。

私たちの罪を代わりに背負って十字架で苦しみ、死を遂げられたのがイエスさまです。イエスさまは、神さまであり、罪がまったくないお方だからこそ、イエスさまの十字架の死によって、私たちの罪を償うことが可能となったのです。そのため、カテキズムも、このように語ります。

問27 どうして救い主はまことの神さまでなければならないのですか。

答 まことの神さまである方だけが、私たちの罪を完全につぐない、私たちを神さまとの交わりへと回復し、神さまの子どもとしてくださることがおできになるからです。

そして聖書も、このように語ります。

I ヨハネ書2:2 この方（イエスさま）こそ、わたしたちの罪、

いや、わたしたちの罪ばかりでなく、

全世界の罪を償ういけにえです。

まことの神さまであるイエスさまは、十字架の死から3日目の朝に甦りになり、そして今、天におられます。私たちが、イエスさまこそが、真の神さまであり、救い主であることを信じる時、神さまは私たちの罪をイエスさまの十字架によって赦してくださり、神の子どもとして、天国にお招きくださいます。

イエスさまの十字架に感謝して、イエスさまを救い主として信じていただきたいと思います。

お祈りします。

神さま、イエスさまを私たちの救い主として、人として遣わして下さり、ありがとうございます。そしてイエスさまが十字架の死と復活を遂げられたからこそ、私たちの救いがあります。どうか、私たち一人ひとりが、イエスさまを救い主として信じるができるようにしてください。 イエスさまのお名前によりお祈りします。アーメン